石狩市要綱第 号

石狩市歴史公文書等利用要綱を次のように定める。

平成31年月日

石狩市長 田 岡 克 介

石狩市歴史公文書等利用要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、石狩市総務部情報政策課が管理する歴史公文書等の利用について、必要な事項を定めるものとする。

(用語)

第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

(1) 歴史公文書 「石狩市公文書等選別収集ガイドライン」により、市誌資料として選別・収集された公文書

(2) 地域資料 郷土の歴史的、文化的価値を有する資料で、市誌資料として収集されたもの

(利用請求の手續)

第3条 市は、前条各号で定める歴史公文書及び地域資料（以下「歴史公文書等」という。）について利用の請求をしようとする者に対し、石狩市情報公開条例（平成10年9月16日条例第26号）で定める開示手続を行う。

(利用請求に係る歴史公文書等に記載されている情報の取扱い)

第4条 市は、前項の利用請求に係る歴史公文書等に記載されている情報が、石狩市情報公開条例第9条に該当するか否かについての判断に当たっては、当該歴史公文書等が作成され、又は取得されてからの時の経過を考慮しなければならない。

(簡便な方法による利用等)

第5条 市は、歴史公文書等について、前条に定める方法のほか、以下に定める簡便な方法により利用に供することができる。

2 前項の規定による利用を希望する者は、情報政策課に簡易利用申込書（別紙様式第1号）を提出するものとする。

3 市は、簡易利用申込書が提出された場合は、原則として当日中に当該歴史公文書等を利用に供するものとする。

第6条 簡便な方法による利用は、以下の場合にすることができる。

2 利用請求の対象となる歴史公文書等が、石狩市情報公開条例第9条及び石狩市個人情報保護条例第16条に該当しないことが明らかであり（過去の利用請求で利用に供したもの、刊行物等で不開示事由がないことが容易に判断できるもの、等。）、かつ物理的に利用に供することが可能な状態である場合。

附 則

この要綱は、年月日から施行する。